

「九州フォーラムの取組み」

インフラメンテナンス国民会議
九州フォーラム



インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

自治体応援団 **テックシニアーズ**



九州フォーラム TS 活動推進担当
川神 雅秀

設立目的

◆ 市町村が取り組むインフラメンテナンス、**技術・職員・財政に課題を抱え**、自治体単独では困難が多い。

市町村における持続的な社会資本メンテナンス体制の確立を目指して
平成27年2月 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会

◆ **豊富な経験・高い技術力、現役を卒業したシニア技術者、この貴重な人材(財)を地域のために役立てたい!**

社会資本の管理体制の現状 各分野の管理者

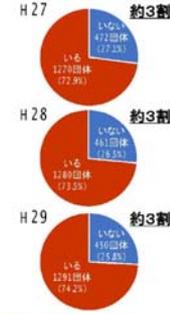
社会資本に関する実態の把握結果

各分野の管理者別の施設数

○各分野において、地方公共団体等管理が多い。



技術系職員がいない市町村の割合※1、※2



社会資本の維持管理に関する取り組み
(国土交通省総合政策局 平成30年10月11日)抜粋

活動方針

令和2年
4月設立

➤ 自治体の皆様が取り組むインフラ老朽化対策、アドバイザーが、技術的なお困り事を直接サポート。

➤ 活動の基本は、ボランティア活動・中立の立場・守秘。

➤ サポートするメンバーは、学・官・産の熟練土木技術者集団。
(大学名誉教授・元役所及び財団職員・元企業社員で構成)

インフラの維持管理は新規に構築する場合とは扱いが異なる。
個々の供用中のインフラは、設置環境・作用荷重・使用材料等の違いにより、劣化損傷の発生原因やその程度は千差万別。



劣化損傷が生じたインフラに対して、医者が患者に接するよう、個別に症状を診察(近接目視・調査)・診断(発生原因と症状の程度)し、その上で治療(補修・補強)を行い、その後経過観察と記録が必要となる。

まずは皆様と一緒に、劣化損傷状態をしっかりと観察し、その現象を推理し、劣化損傷の原因とその程度を把握することが重要と考えます。

2

技術アドバイザー

令和4年
5月現在



大学名誉教授(経験40年以上)	7名
構造工学、コンクリート工学、維持管理、土木材料等	
元役所職員(経験40年以上)	3名
道路橋の事業管理、維持管理、調査・設計等	
元財団職員(経験45年以上)	2名
道路橋の維持管理(点検、診断等)	
元建設コンサルタント会社社員(経験45年以上)	3名
土木構造物の計画・設計・維持管理	
元施工会社社員(経験45年以上)	1名
コンクリート構造物の施工(新設、補修)、土木材料等	

技術アドバイザーの要件

活動規約で定める公的資格、経験年数・職歴・現在の立場等の条件を満たし、九州フォーラム企画運営会議で承認された方。

3

支援対象

専門技術者が不足する自治体を最優先し、一緒に悩み・一緒に考えます。

技術サポート

- インフラの点検・診断、補修設計・施工などについての助言
- 自治体職員による直営でのインフラ維持管理への技術支援
- 維持管理関連技術(最新情報も含め)の紹介

教育育成

- 役所、地元建設コンサルタント・施工業者などの勉強会に講師派遣
- 日頃の疑問・確認事項のQ & A対応(メール、Web会議、対面)
- 補修事例・失敗事例の紹介(メール、Web会議、対面)

交流支援

- 九州各地、インフラ維持管理に携わる自治体職員間の交流支援
- 他の自治体などの成功事例、先進事例の紹介

対象外の支援

- ① 国・県・学協会等で対応するものは、支援の対象外。
- ② 民業圧迫の点検・補修設計・施工管理等の実務作業
- ③ 営利を伴う支援活動

支援対象

技術サポート対象の事例(案)

	技術的助言等の例		技術的助言等の除外例
		提供資料等	
点検	<ul style="list-style-type: none"> ① 点検計画・点検結果のポイント/見方 ② 役所と委託業者間の打合せに同席(又は、テレビ会議)し、技術的助言。 ③ 点検時に確認した不具合個所の助言 	<ul style="list-style-type: none"> 技術助言報告書 技術情報資料 参考文献等 	<ul style="list-style-type: none"> ① 点検作業の実施
診断	<ul style="list-style-type: none"> ① 診断(健全性診断、対策区分の判定)を行う際のポイント/考え方 ② 役所と委託業者間の打合せに同席(又は、テレビ会議)し、技術的助言。 ③ 診断時に確認した不具合個所の助言 ④ 関連する技術情報の調査及び提供 	<ul style="list-style-type: none"> 技術助言報告書 技術情報資料 参考文献等 	<ul style="list-style-type: none"> ① 診断(健全性診断、対策区分の判定)の実施
詳細調査 原因推定	<ul style="list-style-type: none"> ① 詳細調査計画・調査結果のポイント/見方 ② 劣化損傷原因推定のポイント/考え方/推理 ③ 役所と委託業者間の打合せに同席(又は、テレビ会議)し、技術的助言。 ④ 詳細調査・原因推定時に確認した不具合個所の助言 ⑤ 関連する技術情報の調査及び提供 	<ul style="list-style-type: none"> 技術助言報告書 技術情報資料 参考文献等 	<ul style="list-style-type: none"> ① 詳細調査の計画及び実施 ② 劣化損傷原因の確定
補修設計 工法選定	<ul style="list-style-type: none"> ① 補修工法を選定する際のポイント/考え方 ② 役所と委託業者間の打合せに同席(又は、テレビ会議)し、技術的助言。 ③ 補修設計・工法選定時に確認した不具合個所の助言 ④ 関連する技術情報の調査及び提供 	<ul style="list-style-type: none"> 技術助言報告書 技術情報資料 参考文献等 	<ul style="list-style-type: none"> ① 補修設計 ② 補修工法の選定
予算確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 予算の必要費目(例えば、試験費、足場、仮設備等)の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 技術助言報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ① 予算確保のための積算作業
緊急的不具合対応 <small>(補修工事、ダメージの損傷等)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 現地調査への参加、関連資料の確認 ② 支援可能事項の技術的助言 ③ 整備局への支援要請(例えば、テックドクター等の学識者への相談) ④ 打合せに出席(又は、テレビ会議)し、技術的助言。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術助言報告書 参考文献等 	<ul style="list-style-type: none"> ① 専門外あるいは高度な知見を要する技術支援
その他支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修会・勉強会への講師派遣 ② 自発的技術研修会(役所職員、住民、地元企業向け)の企画・開催 ③ 地域への様々な支援を目的としたスタッフ派遣(九州フォーラムとして) ④ 提供要請を受けた技術情報の調査及び提供 ⑤ 先進事例・好事例等の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会用資料 技術情報資料 参考文献等 	
現地調査	<ul style="list-style-type: none"> ① 現地調査関連資料の事前確認 ② 現地合同調査への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ① 現地調査準備
打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ① 打合せ資料の作成 ② 打合せ結果の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ資料 打合せ議事録 	
成果報告	<ul style="list-style-type: none"> ① 支援依頼者への成果報告 	<ul style="list-style-type: none"> 成果報告書 	

3

支援活動

➤ 日常的な「よろず相談」活動

専門技術者が不足する自治体を最優先
一緒に悩み・一緒に考えます

➤ 九州7県道路メンテナンス会議技術検討部会

道路メンテナンス会議との共同企画

「地域症例検討会」への参加

地域症例検討会:道路インフラの劣化損傷事例を各自治体が持ち回りで発表し、法令に基づく定期点検の点検(状況把握)・診断(特に、**健全性判定区分Ⅲ「早期措置段階」**)の考え方・補修の方法などを参加者間で意見交換する目的で開催(年度2回の開催)。

参加者:県・市・町・村、九州地方整備局及び各事務所、NEXCO、**TSアドバイザー**(地域症例検討会には、九州7県233団体の市町村の大半が参加)

TSアドバイザーの役割:求めに応じ技術助言を行う

個別よろず相談会の開催



症例検討会終了後、発表自治体向けに、**TSアドバイザー**によるよろず相談会を開催。



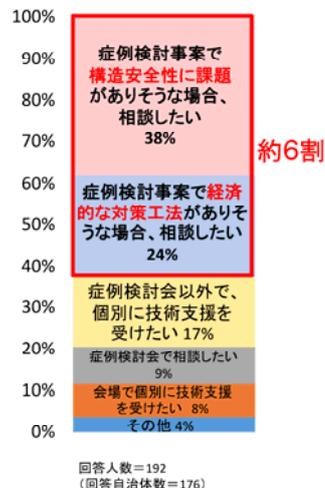
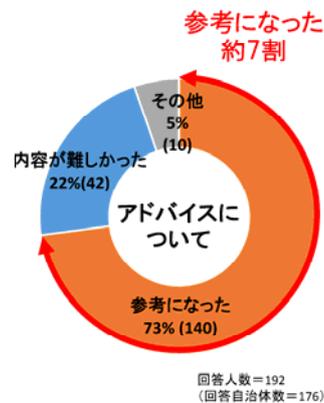
6

【テックシニアーズに関するWEBアンケート結果】

資料提供
九州地方整備局

テックシニアーズのアドバイスについて教えてください。

テックシニアーズに個別相談したいタイミングについて教えてください。



資料:地域症例検討会に関する自治体アンケート調べ ※令和3年10月6日時点

7

テックシニアーズに希望する支援があれば教えてください。

症例検討会後に基準書の解説等フォローアップが欲しい	40%
業務発注前に技術研修を受けたい	33%
症例検討会で事例紹介をする場合、事前に技術支援を受けたい	22%
その他	4%

回答人数=192
(回答自治体数=176)

◆ 質問事項に対する技術助言レポートを提出 参考文献などの紹介 類似の好事例などの紹介

◆ 地域症例検討会 事前相談会の開催

令和3年度技術検討部会(第2回)症例検討会における事前相談フロー 国土交通省 R3.12作成

令和3年度よりテックシニアーズによる事前相談を試行します。症例検討会に際し、発表自治体においてテックシニアーズに対し事前相談がある場合は下記フローにて対応いたします。(当番は「町・村」を優先的に対応させていただきます)

受付

受付専用URL:
https://www.imkyushu.jp/tec/road_maintenance_meeting.html

※症例検討会の1ヶ月前
希望多数の場合は、九地区で
選定させていただきます。

資料送付
(相談内容における追加資料)

※追加資料がある場合(補修設計等)

■ 事前相談における追加資料があれば送付をお願いします。(原則、事前提出済みの点検調査で相談可能)
※症例検討会の2週間前

回答
(webでの打合せ)

■ 事前相談自治体への回答は基本Webでの打合せとする。
※ 原則、企画部・道路部も同席。
※ テックシニアーズ単独でのweb打合せとなった場合、回答に遅延等が生じた場合は、症例検討会の場で九地区より訂正・補足する。
※症例検討会の1週間前

お気軽にご相談ください。

相談
受付

インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム

ホーム 会員一覧 活動紹介 会員申込 お問い合わせ

インフラメンテナ
ンスよろず相談

<http://www.imkyushu.jp/index.html>

| ごあいさつ

我が国のインフラ諸施設の老朽化が急速に進む一方で、特に働き世代の人口減少や地方自治体の財政的制約がますます厳しくなる中、安全安心なインフラの維持管理に国民をあげて取り組む必要性があるとの考えから、平成28年11月にインフラ国民会議が発足しました。

それを受けて、平成30年1月に、同国民会議の公認フォーラムとして、九州フォーラムが設立され、今日まで、産官学民の連携の下に、九州におけるインフラメンテナンスに関する自治体支援、技術開発の推進に向けた産官学のマッチング支援、インフラメンテナンスに対する市民参画の啓発活動などに取り組んできました。

おかげさまで、同国民会議に登録された九州全県下の行政会員数は、九州フォーラムの発足当時はわずか20団体(9%)であったのが、令和3年3月現在では182団体(78%)に増加し、インフラ施設の管理母体である市町村役所の理解が浸透していることが裏付けられます。

九州フォーラムでは、産官学の行政、企業および個人会員から構成される企画運営会議を中心に、インフラメンテナンスに関する自治体支援、技術マッチング、広報・市民参画などの活動に取り組んでいます。特に、九州フォーラムの特徴的な活動として、地方自治体の抱えるインフラメンテナンスに関わるさまざまな悩み・相談に対して、実務経験豊富なベテラン技術者による無償のよろず相談「テック・シニアーズ」や、市民、特に次代を担う小中学生とその保護者を対象とした啓発活動の一環としての市民参加イベントなどの活動も、積極的に展開しています。

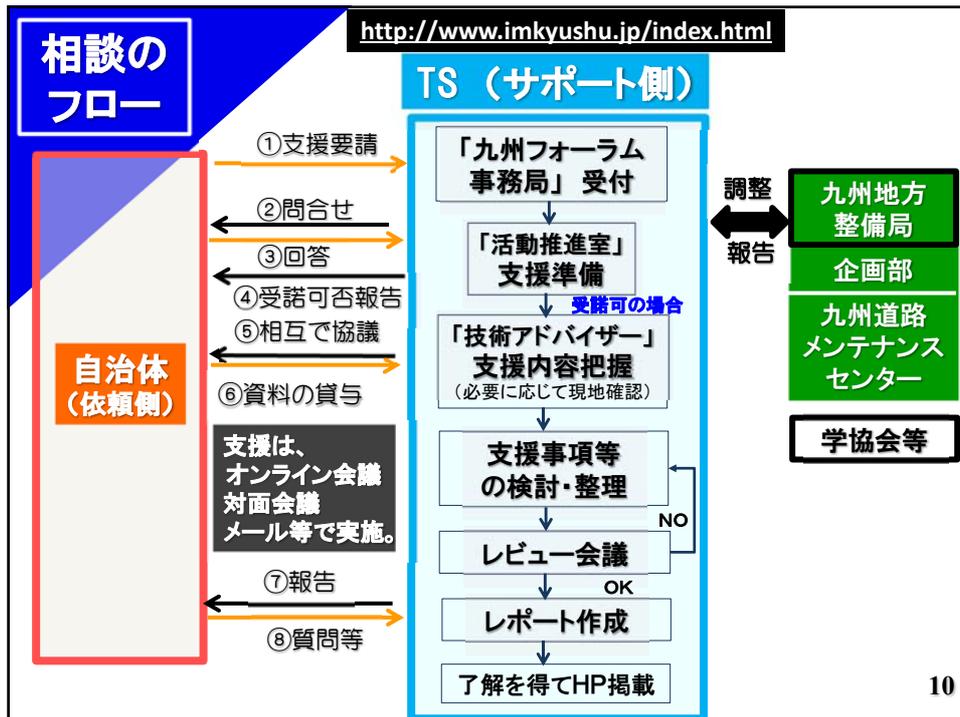
当フォーラムの活動にご賛同戴ける多くの地方自治体や、企業、学協会ならびに一般市民の皆様にも、会員(入会、年会費等無料)として一緒に活動して戴きますよう、ご案内申し上げます。

令和3年6月1日

受付・連絡窓口(建設コンサルタンツ協会九州支部内)

092-434-4340

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム
リーダー 日野 伸一



課題

- 1、自治体への技術支援内容の充実
 - 自治体側が求める支援事項の把握(アンケート結果)
 - 支援要望に応じた技術サポートメニューの整備・充実
 - 技術アドバイザーの技術研鑽
- 2、技術分野及び地域別支援体制の充実
 - 支援依頼状況に応じ、分野(河川、砂防、下水道等)別の技術アドバイザーを充実。
 - 九州7県各地域の技術支援体制の強化
- 3、よろず相談活動の認知
 - ☑どの様な事が相談対象かが分からない。 ☑必要経費の確保が難しい。
 - ☑依頼すると手間や時間がかかる。 ☑敷居が高く相談しにくい感じがする。
 - 自治体の皆様に、「よろず相談活動」の有用性を理解していただくよう、道路メンテナンス会議の場などを通して交流を深める。

11

インフラメンテナンス国民会議
九州フォーラム

自治体の皆様をサポートします
お気軽に相談をお寄せください



インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム
自治体応援団 **テックシニアーズ**

<http://www.imkyushu.jp/index.html>

西海橋 供用開始1955年12月 66歳

受付・連絡窓口 ☎ 092-434-4340